

## 高等部経営方針

### ア 教育目標

- (ア) 教科等の学習により日常生活や社会生活に必要な基礎学力を高め、自立と社会参加に向けて、主体的な態度を養い、合わせて社会生活における実践力を培う。
- (イ) 地域とつながる作業学習、インターンシップ（現場実習）を積み重ねることで、職業生活や社会生活、家庭生活を営む上で必要な知識や技能を身に付けるとともに、夢や希望に向かって挑戦する力を身に付ける。
- (ウ) 地域交流、学校間交流、縦割り活動（中学部、異学年間での活動）など、様々な人との交流をとおして、豊かな人間関係づくりにつなげ、情操豊かな心、たくましい生活力を養う。

### イ 努力事項

- (ア) 一人一人の教育的ニーズに応じた指導と学習内容の充実を図る。
- (イ) 個別の指導計画や個別の教育支援計画等を活用し、生徒の実態に応じて多様な指導内容を検討することで、卒業後の生活に必要な基礎学力の向上につなげる。
- (ウ) OTA キャリア教育プランをもとに、小学部・中学部と積み重ねてきた系統性を踏まえながら、卒業後の生活に生かせるキャリア教育を実践し、夢や希望をもとにした進路選択の幅を広げる。
- (エ) インターンシップ（現場実習）で職業や仕事の実際について経験を重ねることで自分の適性を知り、卒業後の進路を決定できるようにする。

### ウ 特色ある授業の実施

#### (ア) インターンシップ（現場実習）

個々の卒業後の進路に合わせた職業教育の中で、生徒の特性やニーズに応じて、連続型のインターンシップを中心に実施し、必要に応じてデュアル型インターンシップを取り入れるなど柔軟に対応することで、進路選択の幅を広げ、卒業後の進路先を決定する。

#### (イ) 読書タイム

国語の授業において週 1 時間の図書室での学習を実施することで、自分で興味のあることや課題について調べ学習等を行い、本による知識や興味関心を広げ、余暇につなげる。

#### (ウ) 数学チャレンジタイム

毎日 10 分間、数学の学習を繰り返すことで、計算力や思考力を高め、卒業後の自立と社会参加に必要な基礎学力を身に付ける。

#### (エ) 作業学習

週 6 時間の作業学習では、将来の職業生活を見据えて職業に関する事柄について理解するとともに、将来の職業生活に係る技能を身に付ける。サービス班、クラフト班、ソーイング班、ファーム班の 4 班で構成し、生徒の興味関心を生かした活動ができるようにする。

#### (オ) 交流学习

学校間交流や学校周辺地域の企業の方々との交流を深め、様々な人たちとかかわり、卒業後、地域の中で共に生活していく力を身に付ける。